

北辰会解散宣言

薫風かおる2024年5月26日 私たち北野高等学校定時制課程同窓会北辰会の会員は思い出の地“十三”で開催する「北辰会解散総会」に集いました。

北辰会は83年の歴史を刻む

北辰会は1941年に大阪府立夜間中 学第1回卒業生49名で発足し、初代会長に酒井芳正さんが就任されました。それから83年が経過します。その間の活動は、戦時戦後の混乱期や高度経済成長期こそ低調でしたが、1987年(昭和62年)の母校創立50周年を境に各期同期会の開催や、北辰会報、文集「北辰」、北辰会DVDの発行、北辰会ホームページの運用など活動が高揚しました。

北辰会の実情

高度経済成長が進んだ1970年以降は社会・経済的背景の変化に伴い定時制課程にも質的変化が進みました。それまでの「経済的理由から定時制に学ばざるを得ない」時代から、「昼間の高校に馴染めない生徒の場」の要素が大きくなりました。それは必然的に北辰会への結集が薄らぐ要因となり、1972年卒業の31期生から最後の卒業生となった2007年67期生までは同期会も組織されていません。このため若い会員の方々の北辰会活動推進役への参加が得られませんでした。そのような中、社会情勢から2009年に母校定時制課程が閉課程になりました。当然のことながら67期を最後に卒業生は無く新入会員もありません。同時に現会員の高齢化が目立って来ました。現在活動出来ている同期会でも活動を推進して頂いている方々の高齢化が顕著です。長年北辰会を支え続けて頂いた諸先輩もご高齢となられ訃報も多く届いています。

役員の高齢化と解散に至る経緯

更に大きな問題がありました。それは、北辰会の推進役として活動して頂いている常任幹事や各期幹事の方々の高齢化の問題です。同期会も幹事の高齢化、固定化が進み、高齢化による同期会の解散も見られました。閉課程から14年が経過し、会員の高齢化は必然となっています。これに追い打ちをかけたのが2020年2月に発生した新型コロナウイルスによるパンデミックです。コロナ禍で世の中の全ての活動が影響を受け、北辰会も常任幹事会、幹事会、同期会などが3年間の活動停止を余儀なくされました。

これらの現状に鑑み会長以下3役は北辰会の将来を直視して北辰会の存続問題を常任幹事会に諮られました。2021年10月の事です。その後2022年3月、2023年5月の幹事会において「北辰会の解散」について論議をして頂き、喧々諤々の議論が交わされました。論議の中で、北辰会をとりまくもろもろの事情は、解散せざるを得ない状況であることが再認識され、会長以下、拡大常任幹事会、幹事の皆さんが、断腸の思いで苦渋の決断をされ2024年12月31日をもって解散することが決定されました。

以上の経過を報告し、ここに 北野高等学校定時制課程同窓会北辰会は2024年12月31日をもって解散することを宣言致します。

北辰会が解散しても同期会や同好会の活動は残ります。今後は、同期会や同好会を通じて北野高等学校定時制課程に学んだ同窓生として友好を継続して頂きたいと切に願っています。

2024年5月26日 北辰会会長 岡田多聞
(代読;事務局次長 26期 兼田吉治)